

「動物と自然を科学しよう2014」

○魚が育てる貝の赤ちゃん・・・環境計画学:柿野 亘 講師

私たちの身のまわりには、目に見えない小さな生き物が生活しており、その場所で、私たちにとってとても大事な生態系を維持しています。幼生や稚貝を観察することによって、これを確認し、守る(保全)ことの大切さを理解しましょう、と柿野先生からお話がありました。 ↓



開講式では、獣医学部の高井伸二学部長からご挨拶をいただきました。



貝の子ども(稚貝)の動く様子を顕微鏡で確認して、絵を描きます。



↑ 顕微鏡のモニターを見ながら、説明しています。



観察して、調べた結果を、各班の代表がみんなに発表していきます。

○哺乳類と鳥類における骨格の比較解剖・・・獣医解剖学:吉岡 一機 准教授



牛の骨の前で、みんなに骨の働きを説明する吉岡先生。



吉岡先生の隣で、ワーイー～ 骨だぞ～



お世話になった先生方と全員で集合写真を撮りました。



鶏の骨は軽～く出来ています。



イルカの骨に触ってみるよ。

※短期体験学習は、夏休みを利用して、北里大学獣医学部に体験入学し、生物や自然との関わり、環境の大切さなどを理解するものです。参加者は、ふだん目にすることのない専門機器、実験器具を使って、大学ならではの講義を受け、楽しく学んでいました。